

## 事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る	事業群主管所属・課(室)長名	土木部 建設企画課	中村 泰博
施策名	1 将来を担う若者の就業支援と魅力的な職場づくりの促進	事業群関係課(室)		
事業群名	④ 建設業における担い手の確保	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額	3,830

### 1. 計画等概要

(長崎県総合計画テェンジ&チャレヅ2025 本文)		(取組項目)							
高齢化や後継者不足等により、建設産業の弱体化が懸念されており、これが進行すれば、災害対応や道路、港湾等の社会資本の整備、維持等に支障をきたすことから、産学官が連携して中長期的な人材確保の取組を実施します。		i) 県内建設業の魅力発信、求職者へのアピール支援 ii) 建設業における就労環境の改善 iii) 建設業における若者や女性の活躍推進 iv) 建設業におけるリモート化の推進							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	建設業における県内高校生の県内就職率	目標値①	56.4%	56.9%	57.4%	57.9%	58.4%	58.4% (R7)	
	実績値②	51.6 (H30)	算定中					進捗状況	
	達成率②/①		—					順調	H26に、産学官連携建設業人材確保育成協議会を立ち上げて以降、様々な担い手対策を講じてきた結果、新規高卒者の就職件数は増加しており、その効果が徐々に現れてきている。引き続き実態把握と効果的な担い手確保へ向けた取組に努めていく。

### 2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和3年度事業の成果等		
				R2実績	R3実績	R4計画		うち一般財源	人件費(参考)	主な指標		R2目標	R2実績
取組項目 ii iii iv	○	1	魅力ある建設産業促進事業	0	0	160	産学官で「『土木の日』実行委員会」を組織し、建設産業の技術・在りようを広く県民に周知するため、「土木の日」のイベントであるオンラインパネル展を実施した。 ※例年、県が主体となって、浜町アーケードでパネル展を実施していたが、令和3年度は新型コロナの影響で中止となり、代わりに実行委員会主体のオンラインパネル展が実施された。このため、本県の事業費の支出はなかった。また、アンケートの集計も実施されなかった。	【活動指標】	1	0	0%	●事業の成果 ・事業は実施していないが、建設業を身近に感じてもらい、イメージアップにつながるよう「土木の日」のイベントがあるオンラインパネル展に参加した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・事業本来の活動はできなかったが、オンラインパネル展への参加により、県内建設業の魅力向上に寄与した。	
				0	0	159			「土木の日」イベントの開催(回)	1	0		0%
				1,258	1,258	314			【成果指標】	80	—		—
			事業実施の根拠法令等			事業対象			土木事業・建設業の役割の理解度(アンケート)(%)	80	—		—
			事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)							
			所管課(室)名										
取組項目 i		2	建設業PRビデオ制作事業	—	—	—	県民	【活動指標】 R2:中学・高校訪問して上映した回数(回)	15	1	6%	●事業の成果 ・若者や保護者に対し、「攻めの情報発信」を行うため、ターゲットを絞った動画配信が可能なWEB広告を活用し、県内建設業のPR映像(ダイジェスト版)を配信し、完全視聴回数70万回を達成した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・県内の若者の県内建設業の魅力に対する理解度向上を通じ、担い手確保に寄与した。	
				3,056	2,200	479			R3:動画広告を実施する媒体数	5	5		100%
				3,718	3,718	477			【成果指標】 R2:中学・高校生の建設業に対するイメージ(アンケート)(%)	80	100		125%
			事業実施の根拠法令等			事業対象			R3:動画の視聴回数(万回)	40	70		175%
			(R3終了)R2-3										
			建設企画課				建設事業者						

取組項目 i ii iii	3	建設業における担い手確保加速化事業費				<担い手向け> ○Nなび上に建設業に特化した特集ページを制作し、特集記事や動画などにより建設業の魅力を発信 ○就職説明会など主要イベントにあわせ、工業高校生などにターゲットを絞ったWEB広告により特集ページへ誘導し、さらに企業情報や求人情報等へつなげる  <企業向け> ○経営者の意識啓発を目的とし、「働き方改革」「ICT利活用(生産性向上)」「人材確保」「女性活躍」の4テーマでセミナーを実施	【活動指標】				—
			6,545	3,273	941		HPへの年間アクセス数(万回)	1			
			(R4補正)R4-6				【活動指標】				
		建設企画課	—	—	—	高校生・大学生・保護者、建設事業者	【活動指標】				
取組項目 ii iii	4	建設技術者雇用促進事業	0	0	0	令和元年度から建設業入職後の若手技術者等を対象にした技術者育成研修を実施するため、平成30年度に関係団体等の協力のもと、指導者の育成を図った。 本事業では、上記により育成した指導者が訓練機関((公財)長崎県建設技術研究センター)にて若手技術者に対して指導を実施するシステムを活用しながら、離島市町の事業者が派遣する若手技術者の宿泊費等の一部に対する支援を実施した。	【活動指標】	15	0	0%	●事業の成果 ・研修の受講に際し、本土に比べて、旅費・宿泊費等の経費がかかる離島企業の支援を行い、本土と離島の受講機会の格差是正を図ることで、離島からの受講に繋がった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・若年建設技術者の育成研修を開催し、受講者(就職者)の技術の習得を通じて、県内建設業の担い手育成に寄与した。
			112	57	0		技術者育成研修受講者人数(人)	15	16	106%	
			(R3終了)H30-R3				【成果指標】	15	0	0%	
		建設企画課	—	—	—	建設事業者	【活動指標】	15	16	106%	
							【成果指標】				

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	県内建設業の魅力発信、求職者へのアピール支援  ●実績の検証及び解決すべき課題 高校卒業者の獲得へ向けては、企業が求人票を早期にハローワークに提出することが重要であるため、建設業界に対して新規高卒者に対する求人票の早期提出を依頼した結果、R3.3月卒業の高校生に対する早期求人割合は上昇傾向を示している。 また、これまで継続して土木の日イベント、親子の現場見学会などを実施し、若者に建設業の魅力や役割を伝えてきた。令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、例年同様のイベントは実施できず、オンラインパネル展を実施するなど、可能な取組を積極的に実施してきたが、広く県民に周知するため今後も対面式のイベントを継続実施していく必要がある。	●課題解決に向けた方向性 これからも、人材確保のため引き続き業界に対する依頼を継続していく。 新型コロナウイルスの影響はまだ続くと思われるが、事業の効果を最大限発現させるべく、対面イベントの開催を模索していくとともに、関係機関・団体のネットワークはもとより、オンラインの手法やSNS等も活用するなど、コロナ禍の中でも可能な手段を用いて建設業の魅力を若者に積極的にアピールしていく。
ii	建設業における就労環境の改善  ●実績の検証及び解決すべき課題 県内建設企業の若手技術者の育成や定着を目的に「建設技術者育成システム」を構築し、令和元年度から長崎県建設技術研究センターにおいて土木施工管理基礎研修を開始した。 【R3の受講者数は16名】 同時に、本研修における、本土と離島の受講機会均等を図るため、離島からの受講者の旅費等について補助を実施(R1～R3)。 【R3の補助対象者は1名】 ※旅費・宿泊費など本土受講者との差額分を当該市町と共に補助。 ※R4以降は、長崎県建設技術研究センターが同様の補助を実施することとなったため、R3で事業終了。	●課題解決に向けた方向性 経営者層が「就労環境の改善」や「建設現場のデジタル革命」など、従来と異なる仕事の進め方をする将来の世界観を持つことが重要であるため、企業向けのセミナーを開催し、意識改革をはかっていく。

<p>iii 建設業における若者や女性の活躍推進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 H29年度に、産学官連携建設業人材育成協議会の女性活躍推進検討WGにより「ながさき建設女子ネットワーク」が組織され、以降、女性活躍推進検討WGや交流会、意見交換会などを開催してきた。 令和3年度は新型コロナウイルスの影響もあり、多人数が参加する交流会等の開催は見送ったが、女性活躍推進検討WGは開催し、県外から女性技術者の活躍推進に取り組んでいる方を講師に迎えて、今までにない視点での活発な意見交換を実施した。 他業種や他地域の取組を参考とした女性自身の意識改革、また企業経営者の意識改革が必要だが、まだ改善の余地があり、引き続き追及すべき課題と認識している。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 建設女子ネットワークや建設技術者育成システムを引き続き活用し、業界と連携しながら、若者や女性の建設業への入職、活躍促進へ向けた取組を進めていく。 また、企業経営者向けのセミナーを開催し、女性が活躍できる環境を整備するように、経営者の意識改革を図っていく。</p>
<p>iv 建設業におけるリモート化の推進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 建設業のリモート化等を通じた働き方改革への呼び水となることを目指し、ウェアラブルカメラを活用した遠隔現場臨場を試行する体制を整備し、各振興局に機材を配備し、振興局発注工事に活用し、遠隔現場臨場を着実に実施した。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 配備した機材や獲得したノウハウの建設現場での更なる活用を引き続き促し、建設企業にそのメリットや可能性を広く知らしめることで、建設業の働き方改革、生産性の向上、職域の拡大などを進めることで、建設業の更なる魅力向上を進めていく。</p>

#### 4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和4年度事業の実施にあたり見直した内容	令和5年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	
			所管課(室)名			見直し区分	
取組項目 i ii iii iv	○	1	魅力ある建設産業促進事業 S62- 建設企画課	令和4年度は、県の感染症対策のガイドラインを遵守し、佐世保市内アーケード内でのパネル・模型展を開催することとした。	②	引き続き「土木の日」パネル・模型展を開催するにあたり、産官学で組織している「土木の日」実行委員会との意見交換や情報共有を図ることで、展示内容の見直しや実行委員会作成のホームページを活用したイベント情報の発信を行い、より効果的な魅力発信を行うイベントとして取り組んでいきたい。	改善
取組項目 i ii iii		3	建設業における担い手確保加速化事業費 (R4補正)R4-6 建設企画課	R4補正	—	企業が自ら「働き方改革」や「生産性向上」の取組を実践できるように、具体的な取組方法や事例等を取りまとめて情報発信を行うことで、担い手確保をさらに促進させたい。	現状維持

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

<p>【事業構築の視点】</p> <p>① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。 ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。 ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。 ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。 ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。 ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。 ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。 ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。 ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。 ⑩ その他の視点</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------